



# 凛たる美駒 将棋の駒

将棋の道具にみる美術工芸の世界

2020年2月1日(土) - 3月15日(日)

都留市博物館「ミュージアム都留」

山梨県都留市上谷 1-5-1 / Tel: 0554-45-8008

開館時間: 午前9時 ~ 午後5時 (最終入館午後4時30分まで)

入館料: 一般300円 (210円)、高校・大学生200円 (140円)、小・中学生100円 (70円)

※20名以上の団体は ( ) 内料金 / 休館日: 毎週月曜日、2月12日、2月25日 (※祝日開館)

江戸時代~昭和の名工による名駒、現代作品 (富士駒の会共催) が一堂に集まります



**M**useum **T**suru 都留市博物館「ミュージアム都留」

〒402-0053 山梨県都留市上谷1-5-1 TEL 0554-45-8008 FAX 0554-45-8201 E-mail: tsuhaku@city.tsuru.lg.jp



豊島龍山、奥野一香、  
木村文俊、宮松影水、金井静山

とよしまりゆうざん  
近代駒師の祖と謳われる豊島龍山によって、それまで将棋

の道具でしかなかった駒に芸術という新たな命を吹き込みました。

龍山はそれまで見向きもされなかった、黄楊に浮き出る模様「空」に  
着目し、「虎斑」「孔雀空」「赤枳」などと名付けることによって新たな価

値観を創出し、書体研究により新たな書体を生み出すことで将棋の駒そのもの  
を美術工芸品の域へと昇華させ、その立場を確固たるものとししました。

近代駒師の祖・龍山、龍山と双璧を成した奥野一香、木村義雄十四世名人の実  
弟であり技量高く迫力のある彫りで知られた木村文俊、「夭折の天才駒師」

として現在でも絶大な人気を誇る宮松影水、最後の名工といわれた金井  
静山の5人が名工として知られています。

本企画展では5人の名工の作品中、特に優れた作品を中心に、江戸

時代から現代に至るまでの将棋の駒を展示し、将棋の駒の製作

工程や書体、材質を通して美術工芸品としての将棋の駒

の世界をご紹介します。

表画像：遠藤宥峯作  
裏画像：錦旗（富士駒の会提供）

●「将棋の駒」体験教室

富士駒の会による将棋の駒の彫刻体験教室  
プロ指導の下、本物の材料と道具で「歩」などを実際に彫ります。

講師：大澤富月氏・遠藤宥峯氏・富士駒の会所属作家  
日時：令和2年2月15日（土）、3月14日（土） 13：30～16：30  
定員：20名（予約優先、見学可）  
材料費：1,000円（2点）

●将棋の駒製作の実演

遠藤宥峯氏を中心に、自由見学形式で富士駒の会所属作家の実演を行います。

講師：富士駒の会所属作家  
日時：令和2年2月1日（土）・8日（土）・23日（日）、3月8日（日）  
各日 13：30～16：30

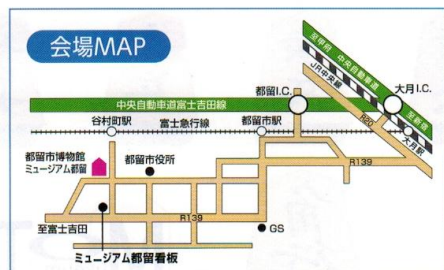
※上記以外にも作家が実演をする場合がございます。（実演見学は無料）  
申込先：0554-45-8008 または tsuhaku@city.tsuru.lg.jp まで

主催：都留市 都留市教育委員会

共催：富士駒の会

後援：日本将棋連盟

山梨日日新聞社・山梨放送／テレビ山梨／朝日新聞甲府総局／産経新聞甲府支局／毎日新聞甲府支局／読売新聞甲府支局／エフエム富士



◆アクセス方法（交通機関の案内）

- 電車ご利用の方…… JR中央線大月駅から富士急行線乗換、谷村町駅下車すぐ。
- 車ご利用の方…… 国道139号 谷村町駅入口、ミュージアム都留入口看板あり。
- 中央道ご利用の方…… 中央自動車道富士吉田線都留ICより国道139号線に出て約10分。